

社会科(公民的分野)学習指導案

授業者：
指導教諭：

1. 日時 令和5年10月2日(月)4限(11:25~12:10)
2. 学級 第3学年1組 (男子21名 女子17名 計38名)
3. 場所 第3学年1組教室
4. 教材 『中学社会 公民的分野』(日本文教出版)
5. 単元名 第2編 第2章 第3節 暮らしを支える地方自治

6. 単元目標

- ・地方公共団体の政治のしくみ、住民の権利や義務を基に地方自治の基本的な考え方について理解する。
- ・よりよい地域社会をつくることと、住民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察し、思考・判断したことを表現する力を養う。
- ・暮らしを支える地方自治について、現代社会に見られる課題の解決に向けて主体的に社会に関わろうとする態度を養う。

7. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む姿勢
地方公共団体の政治のしくみ、住民の権利や義務を基に地方自治の基本的な考え方について理解している。	よりよい地域社会をつくることと、住民の政治参加との関連について多角的・多面的に考察し、表現している。	暮らしを支える地方自治について、現代社会に見られる課題の解決に向けて主体的に社会に関わろうとしている。

8. 指導にあたって

(1) 教材観

本単元は、「私たちの生活と政治」の第3節にあたり、地方公共団体、地方財政についての基本的な社会的事象を取り上げ、地方自治の意義や仕組みをこれまでに学習した政治と結び付けて学習していく。学習指導要領では、地方自治の基本的な考え方と地方公共団体の仕組みについて理解させるとともに、住民の権利や義務に関連させて、地方自治の発展に寄与しようとする住民としての自治意識の基礎を育てることを主な目的としている。

これらは生徒にとっては身近には存在しているがイメージがしづらい領域である。そのため、生徒の身近に存在している事例を挙げることや住んでいる地域について考える機会を設け、イメージしやすい工夫する必要がある。

(2) 生徒観

本学級の生徒は、全体的に落ち着いていてしっかりとした態度で授業に臨み、作業にもまじめに取り組むことができている。教師が話した内容や指示を理解できており、授業がスムーズに進む印象である。一方で、発問に対して反応する生徒は数名であり、授業の途中で顔を伏せてしまう生徒も見受けられる。そのため作業時に行う机間巡視の中で声をかけることや、他の生徒との意見交換の機会を設けることで全員が授業に積極的に参加できるような働きかけが必要であると感じる。

(3) 指導観

指導にあたっては、住んでいる地域について考えることや地方自治の必要性、地方財政の現状について知ることなどの様々な学習活動を通して、政治に対する関心を高め、地方自治が暮らしを支えていることに気付かせるようにする。そして地方自治における現状や具体的な問題点の調査、資料の読み取り等を通じて、主体的に課題を解決していこうとする態度を養わせる。

9. 単元計画(全4時間)

時	概要
第一時	私たちの暮らしと地方自治 ○地方自治の必要性について学習しよう。 地方自治、地方分権
第二時	地方自治のしくみ ○地方自治のしくみを学習し、地域を支える様々な仕事を知ろう。 地方公共団体、議会、首長
第三時	地方自治と国の関係 ○都市と地方の財政について考えよう。 地方財政、地方交付税交付金、国庫支出金、市町村合併
第四時 (本時)	地方自治と私たち ○地方自治における住民の役割を学習し、泉大津市について考えよう。 直接請求権、住民投票

10. 本時について

(1) 本時の目標

- ・住んでいる地域が抱える課題について意欲的に考え、取り組むべきこととその理由を説明している。

(2) 本時の展開

	学習活動	学習内容	指導上の留意点
【導入】 5分	○前回の振り返り ○本時のめあてを把握する。 めあて「より良い泉大津市にするために、課題を挙げ、自分なりの解決策を考えられる。」	・地方財政について振り返る。	・単元最後の内容であり、地方自治のまとめであることを伝える。 ・本時の流れを伝える。
【展開①】 13分	○泉大津市について考える。	発問：「泉大津市の課題として何が挙げられるか」について考える。 予想される反応： ①観光地がない ②道が狭い ③高齢者が多い 発問：「すぐに解決できる課題と解決に時間がかかる課題に並べなおす。」について考える。 発問：並べなおしたら、出た課題の中から1つ選んで「より良い泉大津にするために」の政策案をカードに書く。また理由も一緒に考える。 ・提出ボックスに提出し、全員に共有する。	・以前、泉大津市の住民に聞き取り調査をしているため、その経験を踏まえて考えさせる。 ・周囲の人と一緒に考えさせる。 ・ロイロノートのシンキングツールを使用 ・記入が終わった人から提出ボックスに提出するよう伝える。提出物を共有し、他の人が考えたことも見るよう指示する。
【展開②】 25分	○直接請求権	発問：「泉大津市に新しい条例を作ってみよう」について考える。 ・各自で考える。 ・班で1つの案を出す。 ・条例案を発表する。	・ロイロノートに提出させる。 ・条例を考えさせた上で、直接請求権の内容に入る。

	○直接請求の4つの種類 1.条例の制定・改廃 2.監査 3.議会の解散 4.首長・議員の解職(リコール) ○住民投票 ○地域づくりの中での私たちの役割	発問：「泉大津市では何人分の署名が必要だろうか？」について考える。 (泉大津市の有権者数は約6万人) ・プリントの表を埋める。 ・投票以外にも大切な住民参加の方法があることを知る。	○一方的な説明にならないよう問いかけを意識する。 ・表を埋めながら語句の意味を確認させる。 ・住民投票の例として大阪都構想の件を紹介する。 →簡単に概要の説明
【終末】 2分	○本時のまとめ		・展開②で生徒が考えたことを踏まえて話す。 ・「地域の課題は、私たち住民が自分たちの地域の課題を理解して解決策を考え、行動していく必要があります。これからの社会を創っていく皆さんもその一員として主体的に考え行動してより良い泉大津を目指しましょう。」ということ伝える。

(3) 本時の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地域住民が地方自治に参加するための権利と、その権利に基づいて定められている制度を理解している。	住んでいる地域が抱える課題について意欲的に考え、取り組むべきこととその理由を説明している。	よりよい地域社会をつくるためには地域住民による主体的な政治参加・社会参画が大切であることに気付き、住んでいる地域の現状や課題について追及している。

社会授業プリント【公民的分野】 No.41

3年 組 番 名前

4 地方自治と私たち(教科書p114～115)

1. 住民の政治参加を広げるしくみ

(①) …… 住民が地方の政治に直接参加する権利

請求の種類	必要な署名	請求先	請求後の取り扱い
()の制定・改廃	有権者の _分の_以上	首長	議会を招集し、 結果を報告
監査		監査委員	監査を実施して 結果を公表
()の解散	有権者の _分の_以上	選挙管理委員会	住民投票を実施し、 過半数の賛成があれば 解散
首長・議員の解職 ()		選挙管理委員会	住民投票を実施し、 過半数の賛成があれば 解職

●自分たちの地域に関わる重要な課題について、
住民の意思を図るために(②)を行う。

2. 地域づくりにおける住民の役割

●私たちの役割は、自分たちの地域の現状を理解して解決策を考え、
(③)をすることである。